

# 2011年12月期 決算説明会

2012年2月16日  
JUKI株式会社  
取締役社長 清原 晃

*Mind & Technology*

**JUKI**  
*Mind & Technology*

# 目次

## 第1部 11/12期(11年度)業績の概要

- |               |   |
|---------------|---|
| 1. 業績推移および配当  | 3 |
| 2. 経常利益増加要因   | 4 |
| 3. 主要財務項目推移   | 5 |
| 4. セグメント別業績推移 | 6 |
| 5. 各事業の動向     | 8 |

## 第2部 2012年度の業績予想と重点施策

- |                  |    |
|------------------|----|
| 1. 2012年度の通期業績予想 | 13 |
| 2. 環境認識          | 14 |
| 3. 重点施策          | 15 |

# 第1部

## 11/12期(11年度)業績の概要

2011年度(9ヶ月決算)は、営業利益、経常利益とも2010年度および前年同期を上回る実績

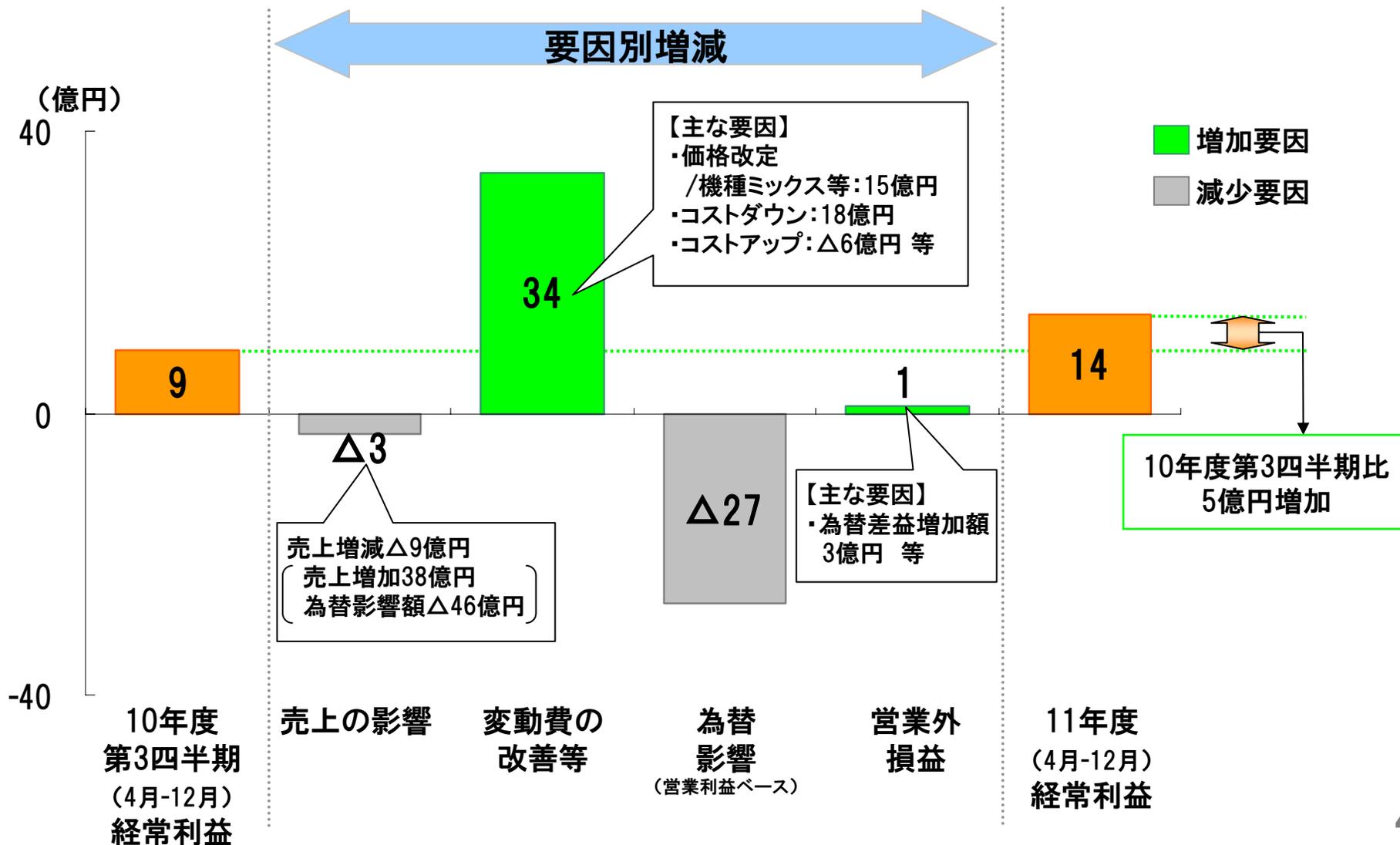
(百万円)

決算期変更により、  
2011年12月期は  
9ヶ月決算

	08/3期 (07年度)	09/3期 (08年度)	10/3期 (09年度)	11/3期 (10年度)	11/3期 (10年度) 第3四半期 (4月-12月)	11/12期 (11年度) (4月-12月)	前年同期比 増減額 (増減率)
売上高	130,351	77,832	56,970	89,596	66,273	65,326	△947 (△1.4%)
営業利益	12,352	△4,975	△11,187	785	419	815	395 (94.2%)
経常利益	11,516	△5,259	△11,102	1,174	863	1,374	510 (59.2%)
当期純利益	4,126	△9,347	△11,233	2,467	1,112	726	△385 (△34.7%)
配当	10円/株	5円/株	0円/株	3円/株		3円/株	
※1 為替 レート	ドル 113円 ユーロ 161円	100円 142円	92円 129円	84円 111円	85円 111円	78円 109円	△7円 △2円

※1 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

変動費の改善等で34億円増加し、為替影響で27億円減少



## 在庫と売上債権の増加により運転資金が増加し、有利子負債が増加

(百万円)

	08/3期末	09/3期末	10/3期末	11/3期末 (A)	11/12期末 (B)	増減額 (B-A)
総資産	117,635	103,654	101,081	106,593	114,263	7,670
在庫	42,240	36,070	29,297	36,240	42,151	5,911
売上債権	23,913	12,821	13,153	17,357	20,978	3,621
有利子負債	40,994	56,001	65,848	63,698	73,828	10,130
純資産	37,100	21,589	10,686	11,549	12,361	※ 812
自己資本比率	31.3%	20.6%	10.3%	10.6%	10.6%	±0

※【純資産の増加額8.1億円の主要内訳】  
利益剰余金10.4億円、為替換算調整勘定△2.1億円

円高の影響および中国市場での需要の落ち込みを、縫製機器はアジアを中心に全地域でカバーし、産業装置は欧米を中心にカバーした結果、前年同期並みを確保

決算期変更により、  
2011年12月期は  
9ヶ月決算

(百万円)

	08/3期 (07年度)	09/3期 (08年度)	10/3期 (09年度)	11/3期 (10年度)	11/3期 (10年度) 〔第3四半期〕 (4月-12月)	11/12期 (11年度) (4月-12月)	前年同期比 増減額 (増減率)
縫製機器 ※	82,608	46,940	38,516	60,267	43,458	42,460	△998 (△2.3%)
産業装置	29,812	19,960	12,040	22,437	17,793	17,210	△582 (△3.3%)
その他	17,929	10,930	6,413	6,891	5,022	5,655	633 (12.6%)
売上高合計	130,351	77,832	56,970	89,596	66,273	65,326	△947 (△1.4%)

※ 2011年度から工業用マシンと家庭用マシンを統合し「縫製機器」としています

### 縫製機器はコストダウン・価格改定等が寄与し増益

決算期変更により、  
2011年12月期は  
9ヶ月決算

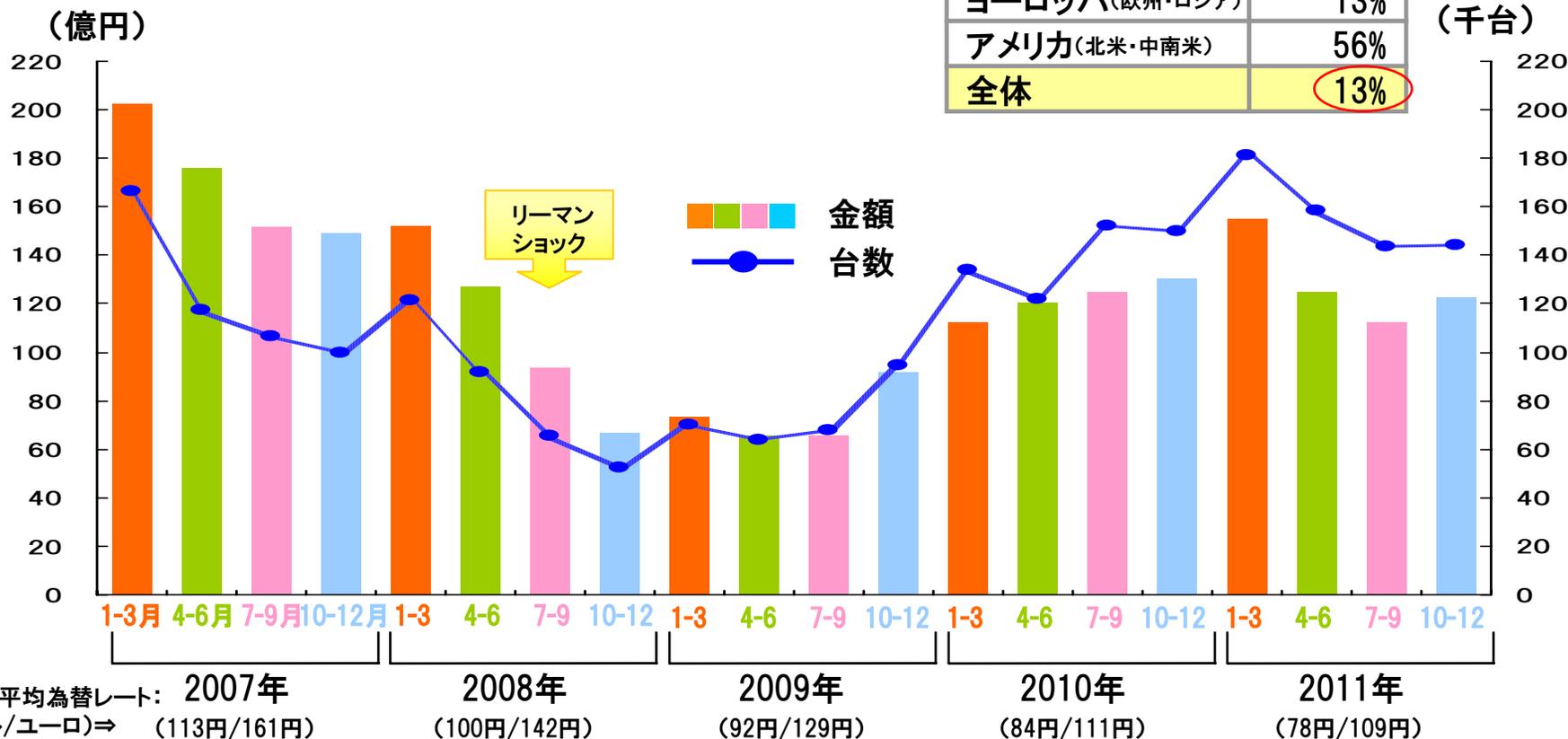
(百万円)

	08/3期 (07年度)	09/3期 (08年度)	10/3期 (09年度)	11/3期 (10年度)	11/3期 (10年度) 〔第3四半期〕 (4月-12月)	11/12期 (11年度) (4月-12月)	前年同期比 増減額 (増減率)
縫製機器	12,317	△2,306	△5,722	1,688	971	2,101	1,130 (116%)
産業装置	1,380	△2,536	△3,503	751	484	527	43 (8.9%)
その他	142	304	△13	59	577	330	△247 (△42.8%)
調整額	△2,324	△720	△1,863	△1,324	△1,170	△1,584	△414 (-)
経常利益合計	11,516	△5,259	△11,102	1,174	863	1,374	510 (59.2%)

販売台数は、中国以外の地域で増加

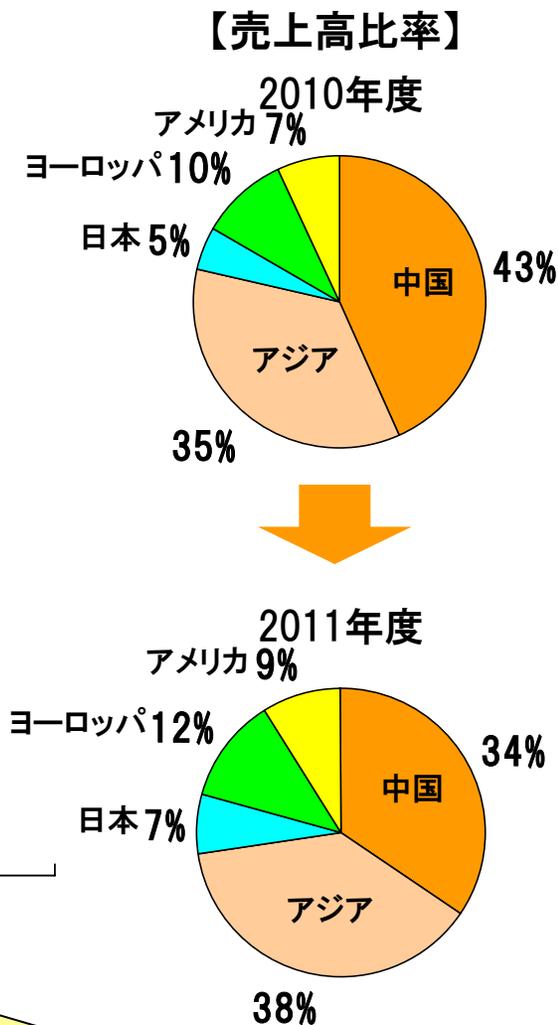
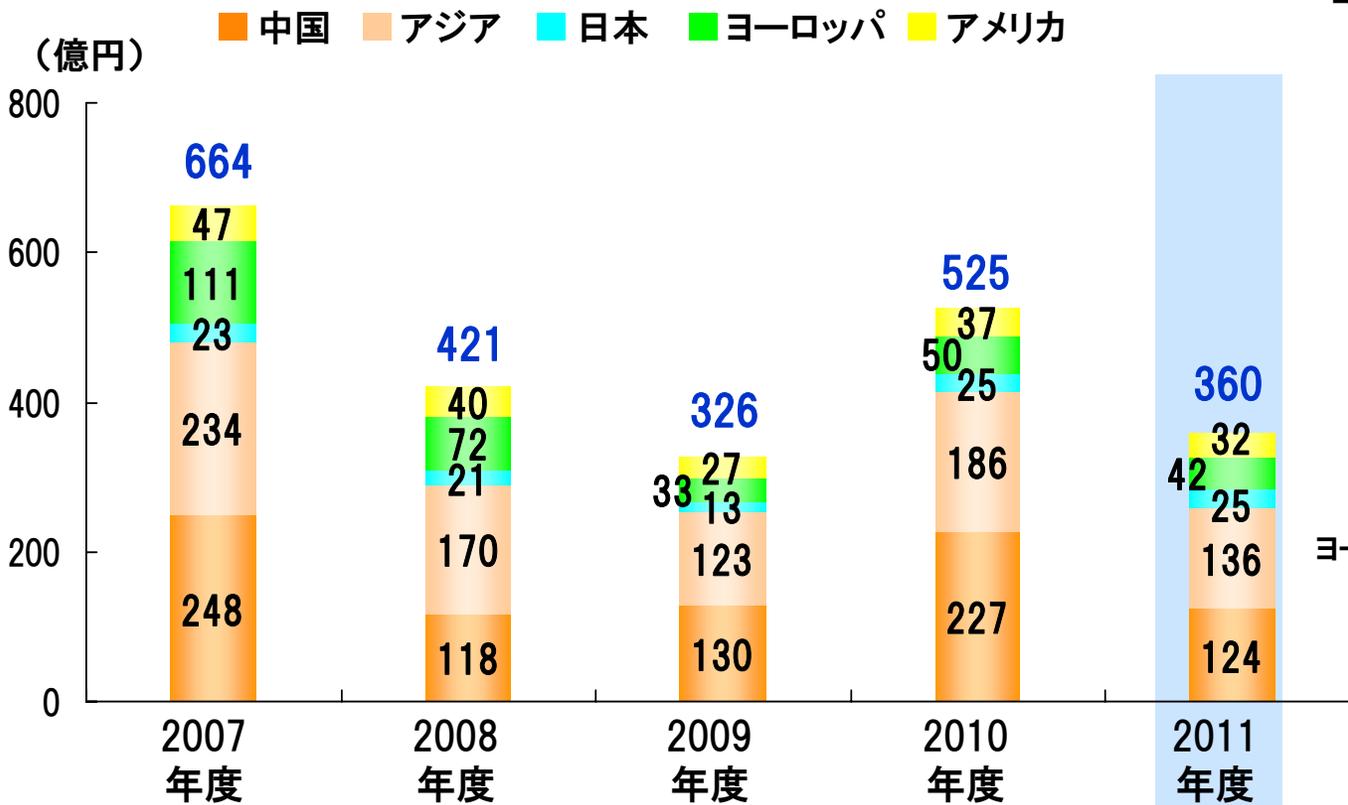
【2011年(通期)前年同期比増減率  
(販売台数)】

地域	増減率
中国	△1%
アジア	23%
日本	40%
ヨーロッパ(欧州・ロシア)	13%
アメリカ(北米・中南米)	56%
全体	13%



(注) 月次販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

縫製工場の産地移動(中国→東南アジア)により、アジアの売上高比率が上昇し、中国は減少。

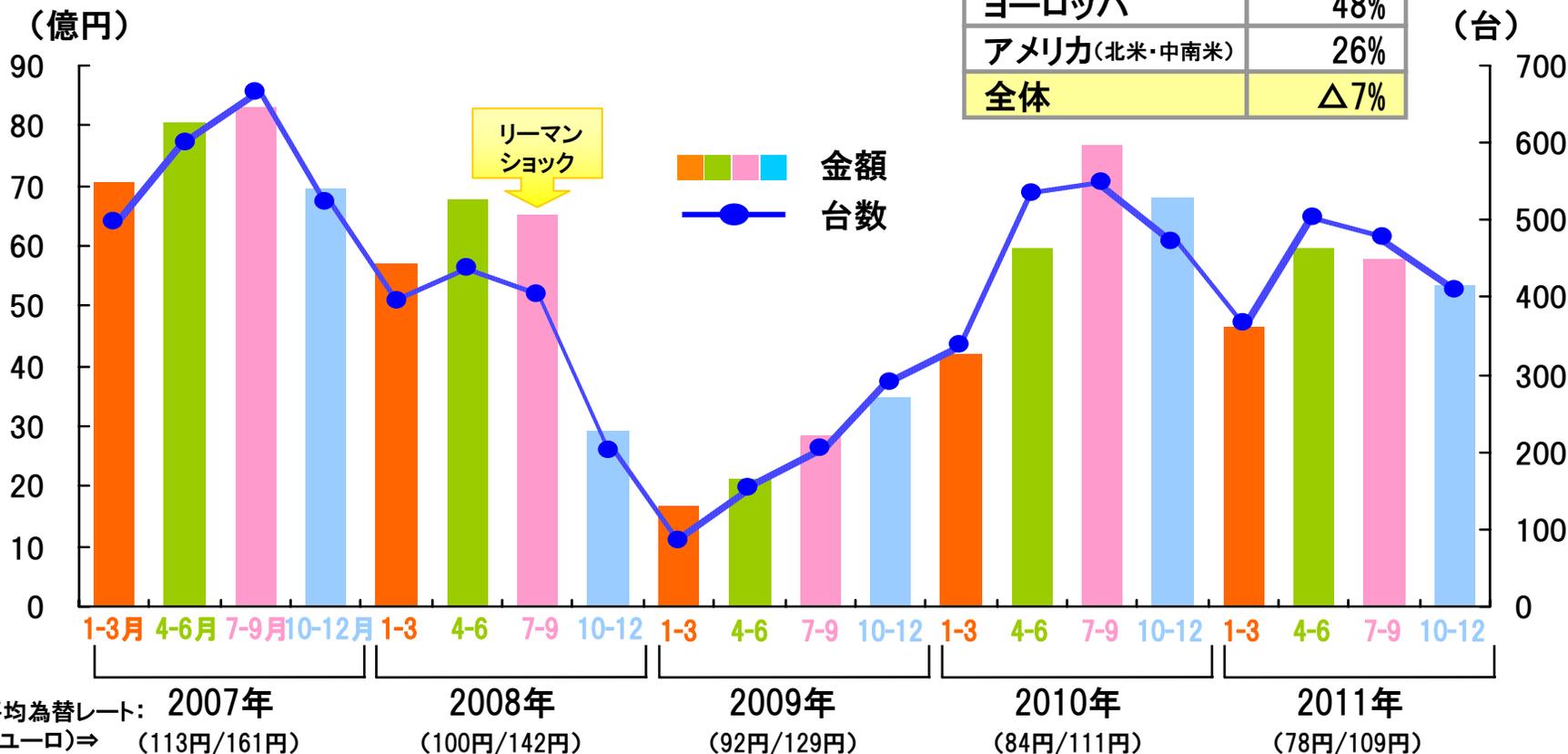


決算期変更により、2011年度は9ヶ月決算

販売台数は、中国、日本が減少し、ヨーロッパ、アメリカは大幅増加

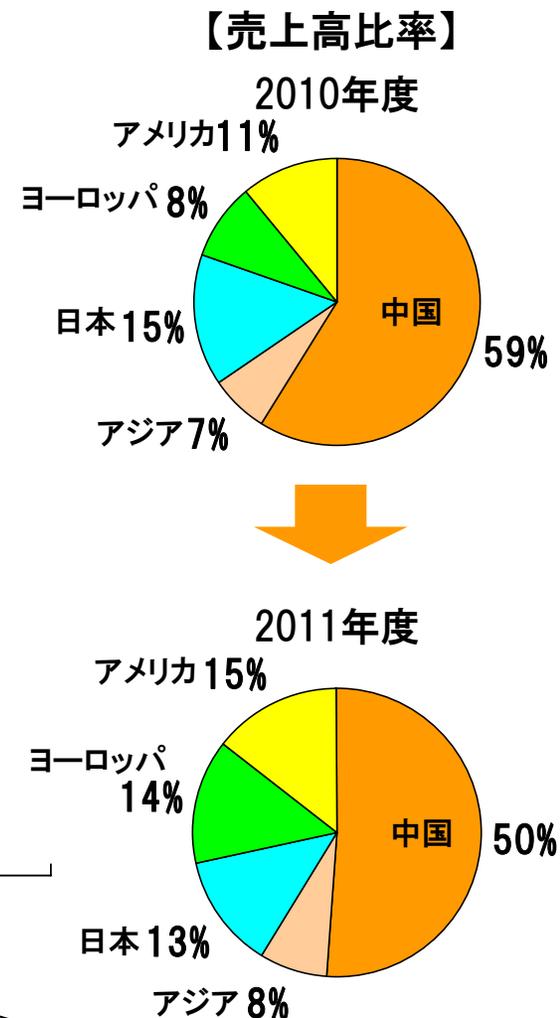
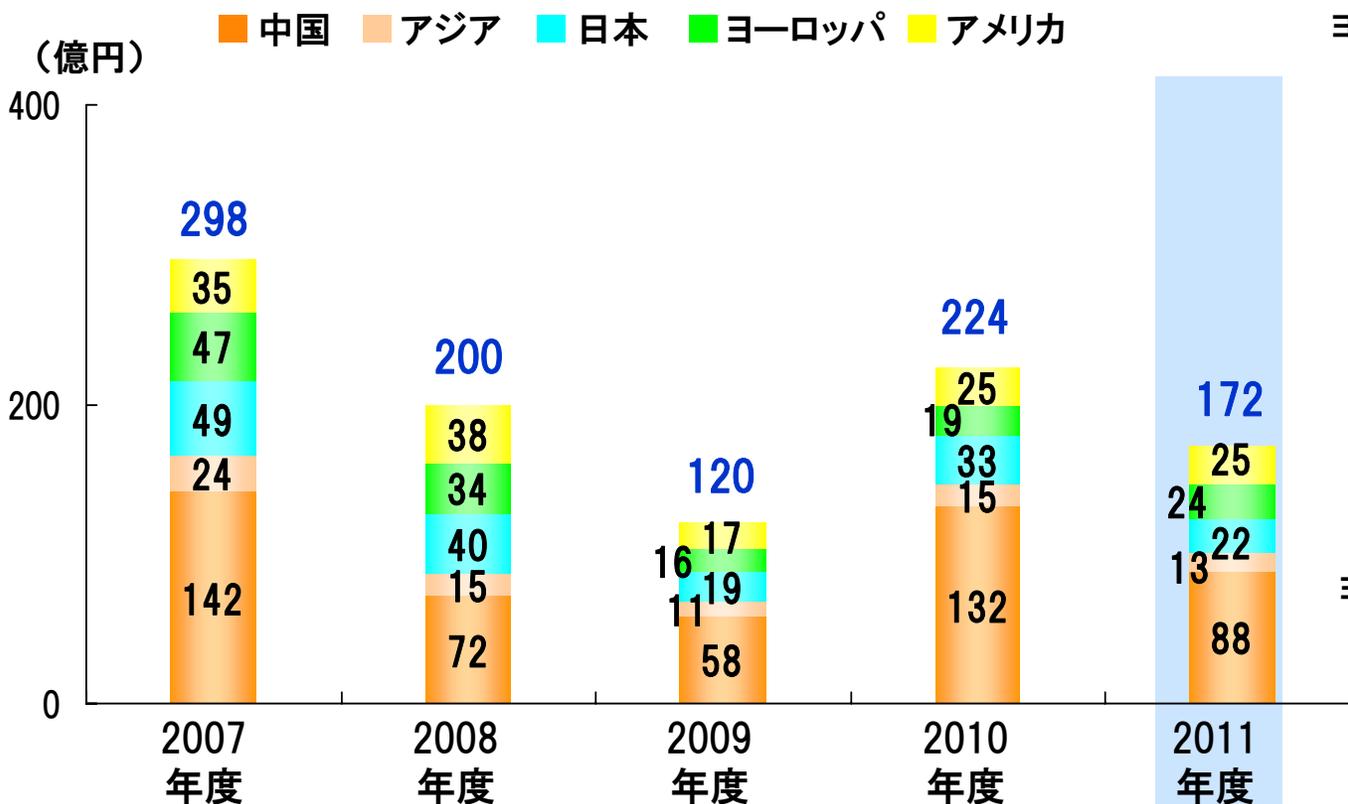
【2011年(通期)前年同期比増減率 (販売台数)】

地域	増減率
中国	△11%
アジア	1%
日本	△35%
ヨーロッパ	48%
アメリカ(北米・中南米)	26%
全体	△7%



(注) 月次販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

アメリカおよびヨーロッパ(ドイツが牽引)の売上高比率が上昇



決算期変更により、2011年度は9ヶ月決算

## 第2部

# 2012年度の業績予想と重点施策

	(億円)		【参考】	(億円)
	2012年度 (1月-12月)		2011年度 (9ヶ月決算)	
売上高	1,015		653	
営業利益	26		8	
経常利益	26		14	
当期純利益	16		7	
配当	3円/株		3円/株	
	為替 レート	ドル 76円 ユーロ 103円	ドル 78円 ユーロ 109円	

## 1. 世界経済

- ◆ 欧州各国の債務問題は、本質的には未解決  
⇒ 経済や金融面の不安定化は継続

【経営リスク】 世界同時不況への懸念

- ◆ 中国やインドにおける金融引き締めの影響は当分続く

## 2. 競争環境

- ◆ 超円高の水準(1ドル=75円前後、1ユーロ=100円前後)は、当面続く

- ◆ 中国・台湾・韓国のライバル企業との競争は一段と激化

## 3. 市場や顧客の動きは早く、変化は大きい

- ◆ 労働力事情や金融経済の状況により、お客様の動きは大きく変化  
⇒ 中国沿岸部の縫製工場が内陸部や東南アジア等へ産地移動

- ◆ 政治情勢や経済連携協定の動向等により、成長地域・成長国・成長企業が新たに出現 ⇒ カンボジア、ミャンマー等

成長地域・  
成長国・  
成長企業への  
攻略強化

## 2012年度 5つの重点施策

1. 「営業の強化」と「コストダウンの強化」
2. 事業領域の拡大
3. グローバルな生産戦略の推進
4. 開発部門の業務改革
5. 管理部門の業務改革

## 1-(1). 営業の強化

### 縫製機器ユニット [工業用ミシン]

#### (1)販売エリア別責任制の導入

- ◆中国・東南アジアエリア、日本・南アジア・欧米・中近東エリアを役員が担当  
 ～中国全域を2つのエリア(「華東・華中」と「華北・華南」)に分けた担当制を導入  
 ～グローバル営業室によるクロスボーダー企業への対応強化

#### (2)東南アジアの営業体制強化

- ◆バングラデシュ、ベトナム、インドネシアに次ぐ、カンボジア、ミャンマー等での市場開拓強化

#### (3)エントリー市場(中国、東南アジア、ロシア、中南米等)の強化

- ◆新商品による販売拡大

#### (4)ニット事業の強化

- ①新商品、アライアンス商品の販売拡大
- ②重点市場での販売専管体制の強化

#### (5)ノンアパレル事業の強化

- ◆新商品の投入



DDL-8700A-7



MO-6500S ※

※SIRUBA社からの  
OEM商品

**縫製機器ユニット [家庭用ミシン]****(1)販売ルートの拡充**

- ◆工業用ミシンの販売ネットワーク活用

**(2)新商品の販売拡大**

- ①「HZL-Gシリーズ」(11年10月発売)
- ②アライアンスによる新商品の販売



HZL-Gシリーズ

**(3)展示会への出展**

- ◆東京国際キルトフェスティバルに出展  
(2012年1月20日-28日、東京ドーム)  
⇒25万人が来場



キルト愛好者にFシリーズ(エクシード)  
が好評

**産業装置ユニット****(1) 高速機市場でのシェアアップ**

- ◆ 高速電動生産ラインの提案による大手顧客の開拓

**(2) 販売エリア別責任制の導入**

- ① 中国・東南アジアエリア、欧州・北米・南米エリアを役員が担当
- ② グローバルエリア担当の専門チームによるクロスボーダー企業への対応強化
- ③ 韓国・インドエリアを担当する専門部署を設置

**(3) ソリューション営業の推進**

- ◆ お客様トップの課題解決に向けた取り組み強化

**(4) タイの洪水対応**

- ◆ お客様の早期復旧を、特別チームを組成しサポート

## 1-(2). コストダウンの強化

### (1) トータルコストダウンの推進

- ① 部品の海外調達強化
- ② 直接加工費・間接/物流費のコストダウン

### (2) 海外生産移管の積極的推進

- ◆ 産業装置の海外生産の拡大

### (3) アライアンスの活用

- ◆ 大手EMS企業との合弁製造会社による電子部品のコストダウン

## 2. 事業領域の拡大

### (1) 業務革新による事業領域の拡大 → ソリューション営業を強化

- ① 産業装置: 「生産工程省力化ニーズ」に対応
- ② 縫製機器: ノンアパレル分野に対応

### (2) 新規事業の推進

- ◆ スリープバスター(居眠り運転警告/飲酒検知・体調管理ツール)を2月から発売

- ◆ デルタ工業が開発
- ◆ JUKIが販売

### Sleep Buster (スリープバスター)

体表脈波検知センサー  
(マット内蔵)



### 3. グローバル生産戦略の推進

(1)日本、中国、ベトナムに続く生産拠点の検討

(2)中国:生産拠点の機能拡大

(3)ベトナム:工業用ミシンの生産強化

### 4. 開発部門の業務改革

(1)海外開発拠点(中国とベトナム)の強化

◆お客様ニーズに即応するために、現地のグローバル社員による開発力を強化

(2)新製品開発に注力

◆市場ニーズにマッチした新商品をタイムリーに投入

### 5. 管理部門の業務改革

グループ会社の経営支援、指導強化

◆中国本社機能の拡充等

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

## JUKI株式会社

お問合せ先： 総務部 広報・IRグループ 担当：寒川<sup>そう がわ</sup>

TEL :042-357-2398 FAX :042-357-2399

ホームページURL: <http://www.juki.co.jp/>